

第8回（通算第18回）新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事録

1 日時及び場所

令和2年6月15日 午後3時から3時40分 本庁4階 大委員会室

2 出席者

本部長：市長 副本部長：副市長、教育長
本部員：総務部長、企画財政部長、健康子ども部長、都市建設部長、会計管理者、教育部長、議会事務局長
欠席：福祉部長、市民環境経済部長、白井消防署長
関係課長等：総務課長、秘書課長、危機管理課長、財政課長、企画課長、公共施設マネジメント課長、市民活動支援課長、生涯学習課長
（事務局）健康課長、健康課職員

3 議事概要

●今回の会議は2月25日に設置した法に基づかないものとなる。

本部長より

特別定額給付金、子育て世代への給付金等は6月でほとんどが終了する。迅速に対応してもらい感謝をしている。

金曜日に議会が終了した。追加議案でひとり親等の給付金についても可決いただいた。引き続き準備をお願いする。

感染状況として東京都で47人。19日（金）ステップ3へ向かうこととなるが、第2波がいつ来るかわからない状況で次のステップに進んでいくという事。市としても色々な対策を取りながら対応していく必要がある。

（1）学校体育施設開放事業の再開について（生涯学習課）

○当面の間休止としていたが、7月1日から再開したい（屋内外共に）。理由としては以下のとおり。

- ・6月8日から学校が再開している。部活動も再開済み。
- ・市内の新規感染者がいない。
- ・市民から開放時期の問い合わせが多数ある。
- ・7月利用開始の申し込みを受け付け、通知する必要がある。
- ・近隣市においても、順次開放を再開している。

（再開方法）

- ・7月中は定期登録団体のみ。
- ・ガイドラインに沿った運営を行う。
- ・チェックシートを配布し、感染対策をとってもらう。
- ・使用後の消毒については、利用者団体に実施してもらう。

○6月22日から受け付け開始、7月1日から再開（第2波を踏まえ、クラスター対策を行う）⇒承認される。

○これから、クローズしている施設についても同様に検討を進めていってほしい。

（2）その他

○4月30日に決定したイベントの中止について

⇒12月31日まで大きなイベントを自粛（中止）している。

- ・ふるさとまつり・梨マラソン・消防操法大会・防災訓練・敬老会・立春式

・ごみゼロ運動

逆に言えば、上記の大きなイベント以外はまだ未確定な状況にある。

- ・今後、3密の防止などを満たしているものについては共催等を行う予定。何でもかんでもやめるのではなく、ガイドライン等を満たしており、可能なものについては対応する。
- ・危機管理課⇒地域の防災訓練等の要望がある。職員の派遣については、職員の感染の可能性があれば、派遣しない方向で考えたい。⇒ コロナウイルス感染拡大防止により、状況が変わる防災については、対応方法が平常時と変わってきていることから、対応が必要ではないか。
- ・内容によって、線引きが難しい。担当課に権限を持たせるが、判断が難しい。バラバラになってしまうようであれば、市の方向性に照らし合わせて行かないという判断もある。
- ・防災訓練は、共助としてやってもらいたいものではないか。⇒ 地域側はやってもらいたい。担当課としては、地域で実施することについては問題ないが、職員が感染する可能性がある部分としては、ワクチンがない中、不安が残る。

○次回、22日に会議を開催する予定でいるので、その時までには自分たちの業務を見直してもらいたい。

⇒各課で抱えている事業を通常業務としてどこまで戻しているのか。⇒ 防災訓練に限らず、検討を進めていく必要がある。

⇒ 県の協力要請が解除されていく状況であり、感染予防対策が取れているのであればやる必要が出てくるのではないか。

○あくまでも、事業を縮小や3密等の感染予防対策をとったうえでどの条件が付く形と考える。⇒ ただし、クラスターが発生した場合等の対応の検討は必要

○コロナと共存する時期に来ている。行政サービスを維持しながら、対応する必要がある。

○高齢者施設、児童館、健康増進ルームについては、次回22日（月）に検討をすることとする。

事業で困っているものがあれば、ここで検討をしたい。

○宣言が解除されて、いろいろと自粛が解除されている。簡単に中止、延期ということが難しくなっている。どういった予防対策ができれば、事業を実施できるかを検討してもらいたい。⇒ これがクリアできれば、事業が実施できるという考えを持つ。

（総務課より）特別定額給付金について各部から、たくさんの応援をいただき、全体の55.3%に支払い完了。事務処理については、91%が終了している。残り2千世帯（4千人）となっている。